

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/16	観察と描写	専門領域から美学領域の必要性を説明できる。	講座内容を説明する。	泉 滋三郎	
2	4/23		西欧美術における観察と写実の発生についてその思想的背景から関連づけることができる。	資料配布と Web 上の資料を使って、視覚的に解説する。作品の感想をレポートする。	泉 滋三郎	
3	4/30		1. 空間把握の基本である空気遠近法、線遠近法を列挙できる。 2. 一点透視図法、二点透視図法を理解できる。	資料配布と Web 上の資料を使って、視覚的に解説し、簡単な透視図を描く。	泉 滋三郎	
4	5/7	形態と色彩の基礎	1. 人物のカノンを理解できる。 2. 友人の横顔を描写できる。	資料配布と Web 上の資料を使って、人物のカノンを理解させるために簡単な図を描く。	泉 滋三郎	
5	5/14		色彩理論の基礎を具体的に述べられる。	資料配布と Web 上の資料を使って、視覚的に説明する。	泉 滋三郎	
6	5/21		色彩理論による混色を理解し、その有用性を感じることができる。	PC のペイントソフトを使って色彩理論に基づく混色を実践する。	泉 滋三郎	
7	5/28		CIE (国際照明委員会) 標準の Yxy 色度図を理解できる。	資料配布と Web 上の資料、さらに PC を使って、視覚的に説明する。	泉 滋三郎	
8	6/4		CIE 標準における二色間の色差表記である Lab 座標を理解できる。	//	泉 滋三郎	
9	6/11		多様な美術	近代デザインの流れを理解できるとともに、デザインの重要性を理解できる。	資料配布と Web 上の資料を使って、視覚的に解説する。デザイナーについて調べる。	泉 滋三郎
10	6/18	現代美術の流れを理解できる。		資料配布と Web 上の資料を使って、視覚的に解説する。作品の感想をレポートする。	泉 滋三郎	
11	6/25	日本人の美意識をアニメーションを見て理解できる。		日本の代表的なアニメーション作品を見て、さらに Web 上の資料を使って解説する。感想をレポートする。	泉 滋三郎	
12	7/2	日本の古くから文化の背景となった、自然哲学、陰陽五行説を理解できる。		資料配布と Web 上の資料を使って、視覚的に解説する。身近な陰陽五行説の体験をレポートする。	泉 滋三郎	
13	7/9	華やかに飾る造形と、渋く地味な造形の対比を理解できる。		資料配布と Web 上の資料を使って、視覚的に解説する。作品の感想をレポートする。	泉 滋三郎	
14	7/16	江戸時代の奇抜で幻想的な美術作品を理解できる。		//	泉 滋三郎	
15	(/)	合学習 ふり返り総	1回から14回までをふり返って美学について述べるができる。	//	泉 滋三郎	